【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公開番号】特開2013-133160(P2013-133160A)
【公開日】平成25年7月8日(2013.7.8)
【年通号数】公開・登録公報2013-036
【出願番号】特願2011-286241(P2011-286241)
【国際特許分類】
Ｂ６７Ｄ　1/14　(2006.01)
Ｂ６７Ｄ　1/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６７Ｄ　1/14　Ｚ
Ｂ６７Ｄ　1/04　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月11日(2015.6.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
穀類分解物を含有する発泡性飲料を泡状にして供給するための泡生成機構であって、
前記発泡性飲料が内部を流れる流路と、
前記流路内において加圧状態にある前記発泡性飲料の中に少なくとも窒素ガスを含む外部ガスを導入するための外部ガス導入手段と、を備え、
前記外部ガスが導入された加圧状態にある前記発泡性飲料の圧力を解放して泡状にする、泡生成機構。
【請求項２】
前記流路は、液体状の前記発泡性飲料が加圧状態にて内部を流れる第１流路と、前記第１流路からの前記発泡性飲料が泡状となって内部を流れる第２流路と、前記第１流路と前記第２流路とを連通する連絡流路であって、前記発泡性飲料がその内部を流れる際に前記第１流路内の圧力が前記第２流路内の圧力よりも高くなるように流路抵抗を付与する連絡流路と、を有し、
前記外部ガス導入手段は、前記第１流路内に導入された後、前記第２流路内に導入される前の加圧状態にある前記発泡性飲料の中に前記外部ガスを導入するように構成されている、請求項１に記載の泡生成機構。
【請求項３】
前記外部ガス導入手段は、前記第１流路の途中に前記外部ガスを導入するように構成されている、請求項２記載の泡生成機構。
【請求項４】
前記外部ガス導入手段は、前記連絡流路の途中に前記外部ガスを導入するように構成されている、請求項２記載の泡生成機構。
【請求項５】
前記連絡流路は、前記第１流路と前記第２流路とを分離する隔離壁に形成されたオリフィスを含む、請求項２乃至４のいずれか一項に記載の泡生成機構。
【請求項６】
請求項１乃至５のいずれか一項に記載の泡生成機構と、

前記泡生成機構で生成された前記発泡性飲料の泡を容器に注出するための泡出口と、を備えたタップ装置。
【請求項７】
前記発泡性飲料を液状のままで供給するための液注出機構と、
前記液注出機構を流れる液状の前記発泡性飲料を容器に注出するための液出口と、をさらに備えた、請求項６に記載のタップ装置。
【請求項８】
請求項６又は７に記載のタップ装置と、
前記タップ装置に前記発泡性飲料を供給するための供給ラインと、
前記供給ラインの中を通る前記発泡性飲料を冷却するための冷却器と、を備えた飲料ディスペンサー。
【請求項９】
穀類分解物を含有する発泡性飲料を泡状化する泡生成方法において、
流路の内部に前記発泡性飲料を加圧状態にて導入する飲料導入工程と、
前記流路内において加圧状態にある前記発泡性飲料の中に少なくとも窒素ガスを含む外部ガスを導入するガス導入工程と、
前記外部ガスが導入された加圧状態にある前記発泡性飲料の圧力を解放して泡状にする泡状化工程と、を備えた泡生成方法。
【請求項１０】
前記流路は、液体状の前記発泡性飲料が加圧状態にて内部を流れる第１流路と、前記第１流路からの前記発泡性飲料が泡状となって内部を流れる第２流路と、前記第１流路と前記第２流路とを連通する連絡流路であって、前記発泡性飲料がその内部を流れる際に前記第１流路内の圧力が前記第２流路内の圧力よりも高くなるように流路抵抗を付与する連絡流路と、を有し、
前記ガス導入工程において、前記第１流路内に導入された後、前記第２流路内に導入される前の加圧状態にある前記発泡性飲料の中に前記外部ガスを導入する、請求項９記載の泡生成方法。
【請求項１１】
前記ガス導入工程において、前記第１流路の途中に前記外部ガスを導入する、請求項１０記載の泡生成方法。
【請求項１２】
前記ガス導入工程において、前記連絡流路の途中に前記外部ガスを導入する、請求項１０記載の泡生成方法。
【請求項１３】
請求項９乃至１２のいずれか一項に記載の泡生成方法により生成した泡を添加した発泡性飲料。
【請求項１４】
請求項６記載のタップ装置の前記泡生成機構により生成した泡を、当該タップ装置を操作することにより、容器内の穀類分解物を含有する発泡性飲料の液面に前記泡出口から注出する泡注出工程を備えた発泡性飲料の製造方法。
【請求項１５】
請求項７記載のタップ装置の前記液注出機構を流れる穀類分解物を含有する液状の発泡性飲料を、当該タップ装置を操作することにより、前記液出口から容器に注出する液注出工程と、
前記タップ装置の前記泡生成機構により生成した泡を、当該タップ装置を操作することにより、前記液注出工程において注出された前記容器内の前記発泡性飲料の液面に前記泡を注出する泡注出工程と、を備えた発泡性飲料の製造方法。